

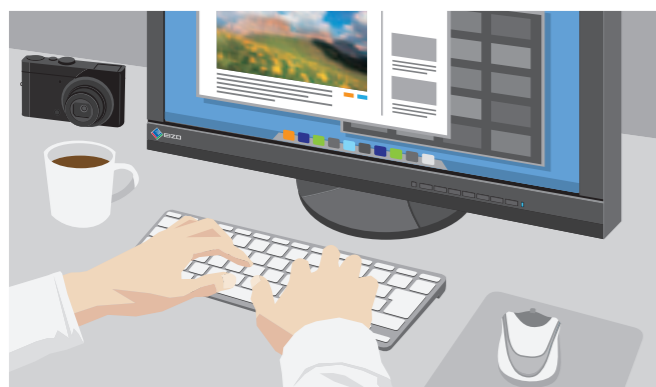
デジタルフォトを もっと楽しむための かんたんガイドブック



デジタルカメラが普及し、 デジタルフォトの楽しみ方はいろいろ！



自宅でプリントしたり、フォトブックを作ったりする



写真共有サイトやブログにアップする



デジタルフォトフレームやテレビで鑑賞する

デジタルフォトの表示に適したモニターを使ってないと…



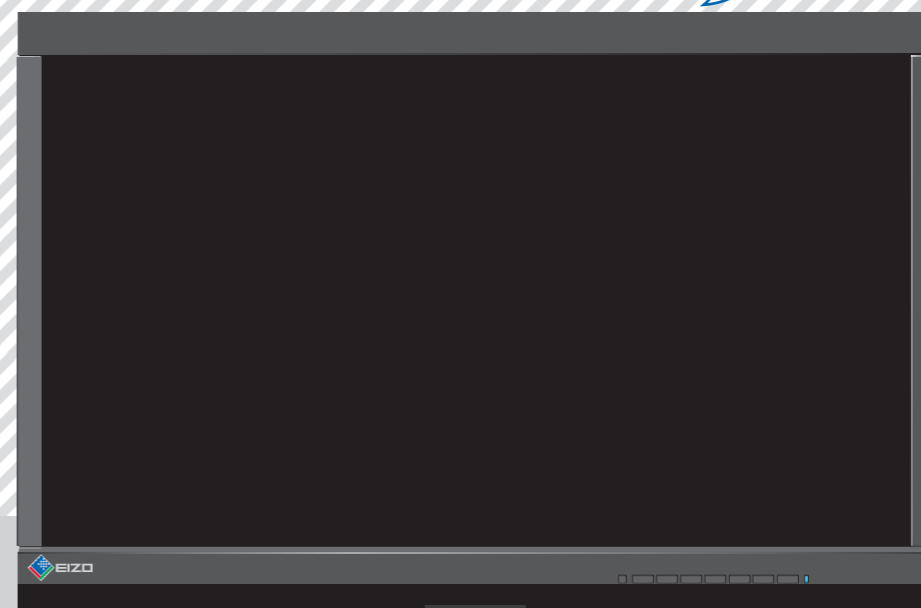
せっかく手間をかけてレタッチをしたのに
イメージ通りの色で見てもらえない



思い通りの色でプリントできなくて
何度も刷り直し、時間をムダにする

実は重要です

デジタルフォトを表示するモニター



デジタルフォトを **もっと** / **もっと** / 楽しむために…



デジタルフォトの表示に適したモニターを使うことが
実は、とても重要です。

- 撮った写真をイメージ通りに閲覧できる
- 正しい色で微細なレタッチ補正ができる
- モニター画面と写真プリントの色が合う

例えば、デジタルフォトを
自宅でプリントして楽しむ場合…



デジタルフォトを
楽しむために

カラーマッチング
させるには

モニター選び

モニターの調整

表示レタッチソフト
の設定

プリンタの設定

環境整備

マッチングの確認

イメージ通りにプリントできると
デジタルフォトは **もっと** 楽しくなる！



ムダな刷り直しなしに作品をプリントできる



モニターの表示を信頼してレタッチで追い込める



モニターで表示した写真データ



インクジェットプリンタでプリントした写真

モニターで表示した写真データとインクジェットプリンタでプリントした写真の色合わせ
ができると、刷り直しのムダなコストを削減、何度もレタッチし直す時間や手間も軽減でき、
思い通りにプリント作品づくりができます。

モニター画面と写真プリントを カラーマッチングさせるために必要なこと

モニター画面と写真プリントのカラーマッチングを行うためには、デジタルフォトの表示に適した正しい表示のモニターを選び、最適に調整することはもちろん、表示レタッチソフトやプリンタも正しく設定することが大切です。この冊子では、カラーマッチング実現までに必要な調整や設定を、プリント作品づくりの流れに沿ってご紹介していきます。



適したモニターを選ぶ

▶ 詳しくはP7~P10へ

写真を撮る

1 モニターの調整

正しい色で確認できるように、あらかじめ写真プリントに適した表示に調整。

▶ 詳しくはP11~P18へ

2 表示レタッチソフトの設定

写真データをパソコンに取り込み、正しい設定で閲覧、プリントする写真を選択する。

▶ 詳しくはP19~P20へ

3 プリンタの設定

正しい設定で、テストプリントする。

▶ 詳しくはP21~

4 環境整備

テストプリントを適切な環境光で見る。

▶ 詳しくはP27~P28へ

5 マッチングの確認

テストプリントとモニター画面を見比べて、マッチングしているか確認。必要に応じて、モニターの微調整。

▶ 詳しくはP29~P30へ

マッチング完了!

画面の表示を信頼してレタッチ、プリント。作品づくりを存分に楽しもう!

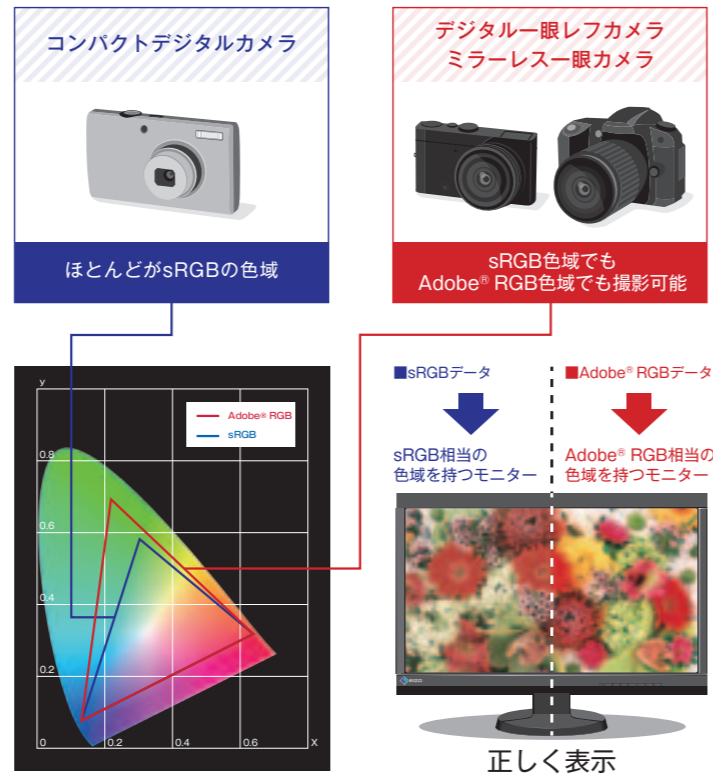
デジタルフォトの表示に適した正しい表示ができるモニターの条件とは？

条件 1

正しい色域で表示できる

デジタルカメラには、sRGBという色空間で撮影するものと、sRGBで撮影するか、さらに広い色空間のAdobe® RGBで撮影するかを選択できるものがあります。Adobe® RGBでは、エメラルドグリーンの海や鮮やかな黄色い花などを撮影できますが、Adobe® RGB相当の色域を持つ広色域モニターがないと正しく表示できません。一方、sRGBでは、再現できる色空間は狭くなりますが、汎用性があるため色管理は行いやすくなります。

Adobe® RGBもしくはsRGB、色管理方法によって、モニターを選ぶ必要があります。



条件 3

画面に明るさや色のムラがない

近年の写真データは記録画素数が大きく、ウィンドウ表示に収まりきらないため、画面いっぱいに表示してレタッチする場合があります。もともと精度のよくないモニターや長年使って表示が変化したモニターは、画面の隅が暗かったり、部分によって色つきがあったり、表示ムラがある場合があります。

デジタルフォトの表示には、あらかじめ表示ムラが出ないように調整されたモニターが適しています。また、使い続けることによる、明るさなどの表示変化を加味した補正を行うよう回路設計されたモニターであれば、なお安心です。



条件 2

滑らかな階調を表示できる

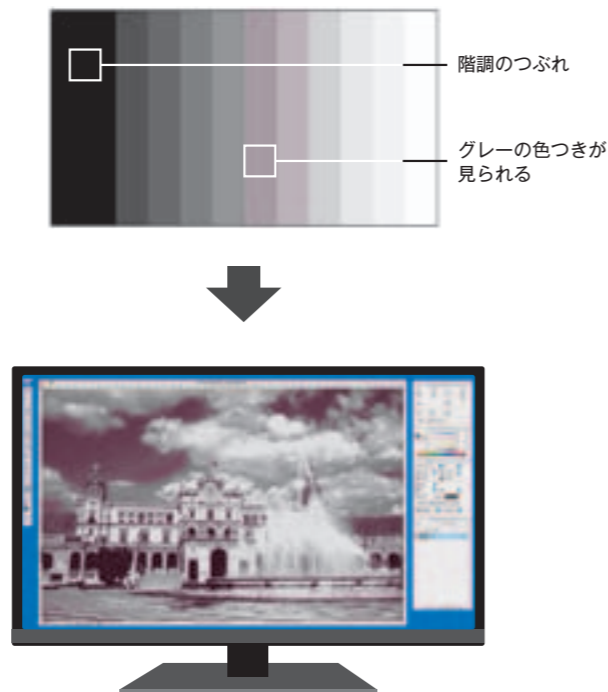
写真データは階調によって色の濃淡や奥行き感を表現しています。モニターに色つきや色とびがあると写真データの重要な部分が正しく表示されないことになります。

写真データを正しく表示するには、モノクロのグラデーションに色つき・色とびがなく、低階調部もきれいに表示できるモニターが必要です。



データを正しくプリントした写真

≠



データを正しく表示できないモニター

条件 4

簡単に表示を調整できる

明るさや色味の微調整を簡単に、最小限の手間で実施することも重要な条件です。一般的なモニターは前面ボタンで調整したり、他社製のソフトウェアを使って調整することもできますが、調整範囲が限られていたり、操作に慣れや時間が必要だったりするため、デジタルフォトの表示に適しているとはいえません。

デジタルフォトの楽しみ方に合わせて、そのモニター専用のソフトウェアやセンサーを使って、簡単に短時間で、適切な表示に調整できるものが理想です。また、正しい表示を保つための定期的な再調整に手間がかからないものを選ぶと快適です。



あなたにおすすめのモニターはこれだ！

EIZOのカラーマネジメントモニターColorEdgeは、前述の4つの条件を満たします。
デジタルフォトの楽しみ方に合わせて、豊富なラインナップをご用意していますので
最適な1台をお選びください。

コンパクトデジタル
カメラを使っている



ミラーレス一眼カメラ・
デジタル一眼レフカメラ
を使っている



sRGBで色管理

- ・sRGBで撮影
- ・RAWで撮影しsRGBで現像

扱いやすいsRGBで!



前ページ
条件1を
参照!

Adobe® RGBで色管理

- ・Adobe® RGBで撮影
- ・RAWで撮影しAdobe® RGBで現像

撮影した鮮やかな色彩を活かす!

■sRGBデータ ■Adobe® RGBデータ



CSシリーズ 専用カラーマネジメントソフトウェア ColorNavigator 6、専用センサーEX3付属モデル

ColorEdge® CS230-CNX3

オールインワン仕様で
ColorNavigator 6を使った
本格的なキャリブレーションを
すぐに始められます。



23.0型

色域:sRGB相当
滑らかな階調:○
表示ムラのなさ:○
簡単に表示を調整:○

CSシリーズ 専用カラーマネジメントソフトウェア ColorNavigator 6、専用センサーEX3付属モデル

ColorEdge® CS240-CNX3

ColorNavigator 6を
使ったキャリブレーションに対応。
A3実寸+ツールパレットを
表示できる24.1型。



24.1型

色域:Adobe® RGBを99%カバー
滑らかな階調:○
表示ムラのなさ:○
簡単に表示を調整:○

さらに手間なくデジタルフォトを楽しむには…

CXシリーズ ColorNavigator 6、専用センサーEX3付属、
専用再調整センサー内蔵モデル

ColorEdge® CX241-CNX3 / CX271-CNX3

自動で再調整を行う専用センサーを内蔵。
モニターまかせてラクラク、常に正しい表示を維持。



A3サイズ以上でプリントするなら…

CSシリーズ ColorNavigator 6、専用センサーEX3付属モデル

ColorEdge® CS270-CNX3

27.0型の大画面で大きいサイズの作品づくりも
ラクラク、デジタルフォトライフがさらに充実。



27.0型

モニターの調整

ここからは写真プリントに適した表示にモニターを調整する手順をご説明します。

購入後の初期状態のモニターは、用途に適した表示になっていません。

そこで、写真プリント、デジタルフォト編集、写真のブログアップなど、デジタルフォトの楽しみ方に合わせてモニターの調整が必要になります。



おすすめ/

ColorEdge CS230-CNX3
CS240-CNX3

ColorNavigator™ 6
付属のカラーマネージメントソフトウェア



付属のEX3センサー

専用ソフトウェアColorNavigator 6と専用キャリブレーションセンサーを使って、短時間で簡単に表示を調整できます。

キャリブレーションセンサーってなに？

モニターを目標に沿って調整するために、現在の表示状態を測定する機器です。



キャリブレーションってなに？

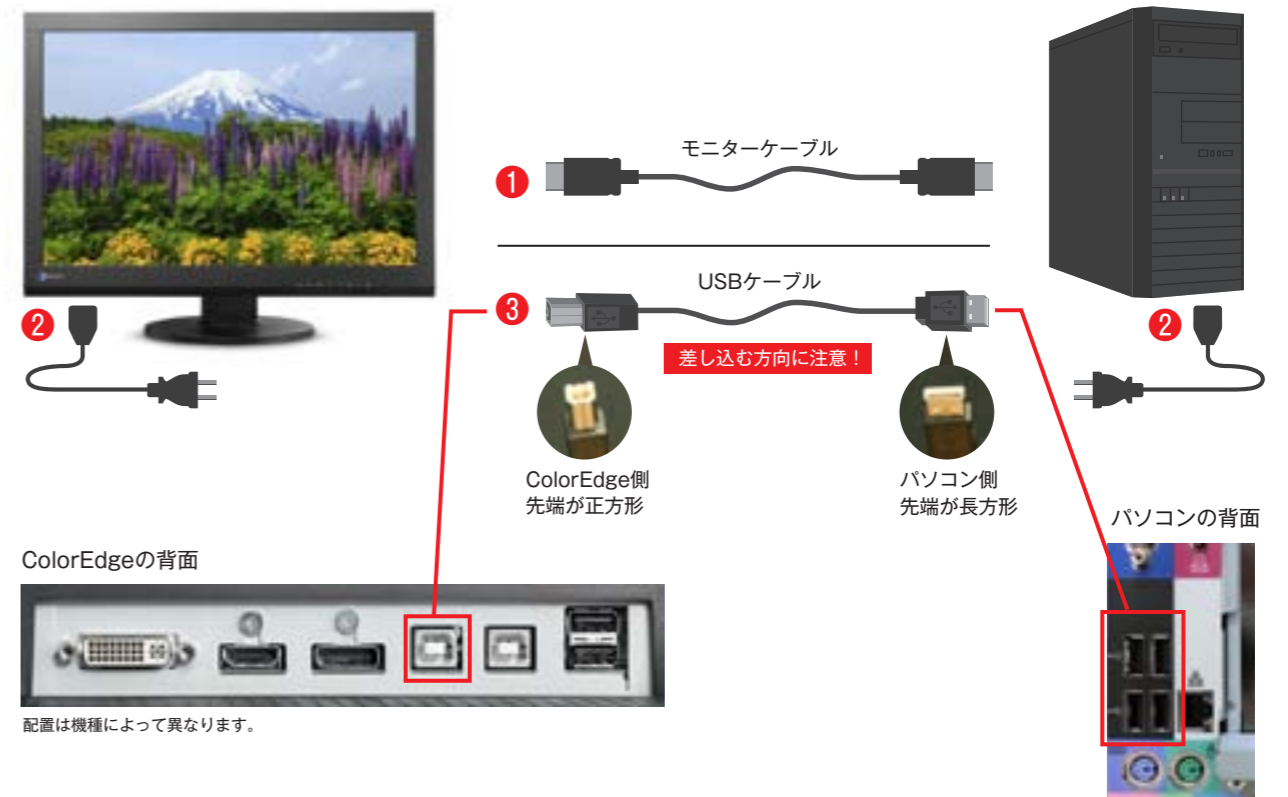
目標とする表示結果となるように、センサーで測定した測定値を参照し、表示を調整することです。

モニターの接続

スムーズにモニター調整を進められるように正しく接続できているか確認しましょう。

セットアップガイドを参照して、

- 1 モニターケーブルでColorEdgeとパソコンを接続し、
- 2 モニター・パソコンのそれぞれの電源コードを接続します。
電源を入れて画面が表示できることを確認し、
- 3 ColorEdgeとパソコンをUSBケーブルで接続。



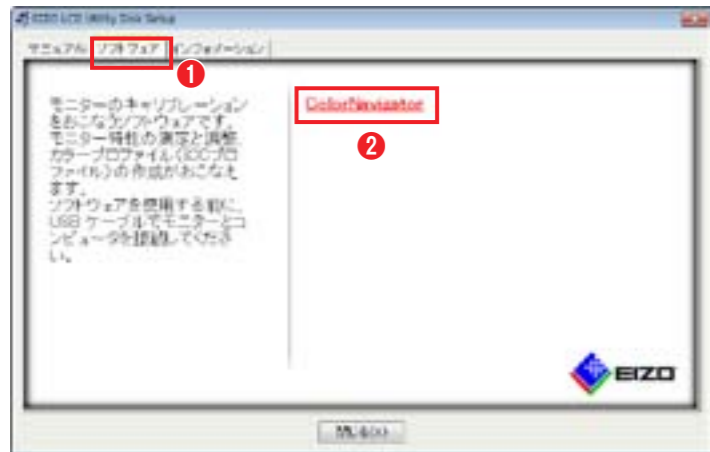
ノートパソコンとの接続など、ColorEdgeを他のモニターと使用する場合は、ミラーリング設定を解除しておく必要があります。
解除方法についてはEIZO Webサイトでご確認ください。
http://www.eizo.co.jp/i/coloredge_setup/

ColorNavigator 6をパソコンにインストール

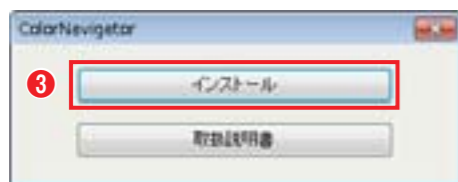
製品に付属の「EIZO LCDユーティリティディスク」をパソコンのCD-ROMドライブに挿入します。

! ColorNavigator 6はEIZO Webサイトから最新版をダウンロードし、インストールできます。インターネット環境がある方はこちらをおすすめします。
<http://www.eizo.co.jp/i/download/cn6/>

Windows の場合



- 1 「ソフトウェア」タブをクリックします。
- 2 「ColorNavigator」をクリックします。画面が表示されます。

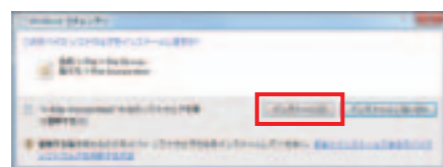


- 3 「インストール」をクリックします。インストーラーが起動します。

画面の指示に従ってインストールしてください。

! インストールと同時にキャリブレーションセンサーのドライバも自動的にインストールされます。インストールの途中で右記のような画面が複数回表示されることがありますが、「このドライバソフトウェアをインストールします」または「続行」を、ウィンドウが表示されなくなるまでクリックしてください。

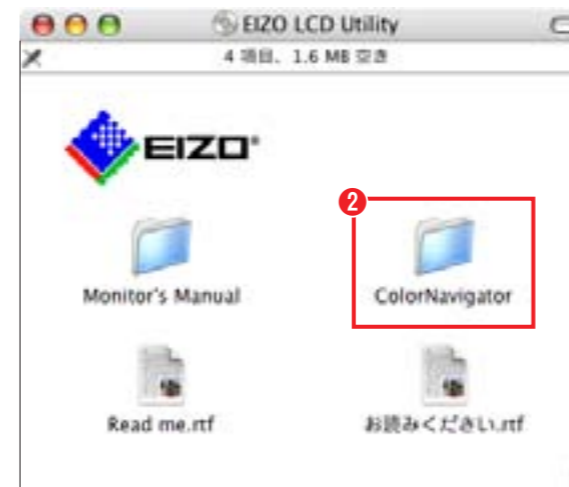
■Windows 7/Vistaの場合



Mac OS の場合



- 1 ダブルクリックします。



- 2 「ColorNavigator」フォルダをダブルクリックします。



- 3 「ColorNavigator 6.pkg」アイコンをダブルクリックします。インストーラーが起動します。

画面の指示に従ってインストールしてください。

モニターの調整

ColorNavigator 6 を使ったカラーマッチング手順

写真データを正しい色で確認できるように、あらかじめ
写真プリントに適した表示に調整(キャリブレーション)します。

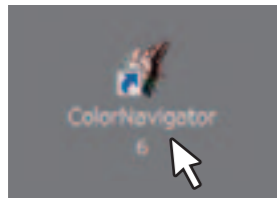
キャリブレーションセンサーを
パソコンまたはモニターのUSBポートに接続。



⚠️ CSシリーズはモニター表示を安定させるために、モニターの電源を入れて30分経ってから調整(キャリブレーション)することをおすすめします。またセンサー内蔵モデルで定期的な自動調整を有効にするためには、電源を入れて60分経ってから調整することをおすすめします。(CGシリーズは30分)

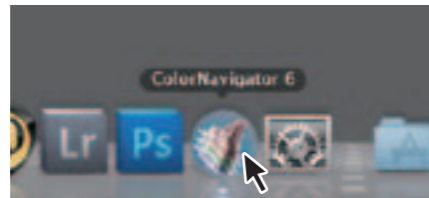
1 ColorNavigator 6 を起動

Windowsの場合



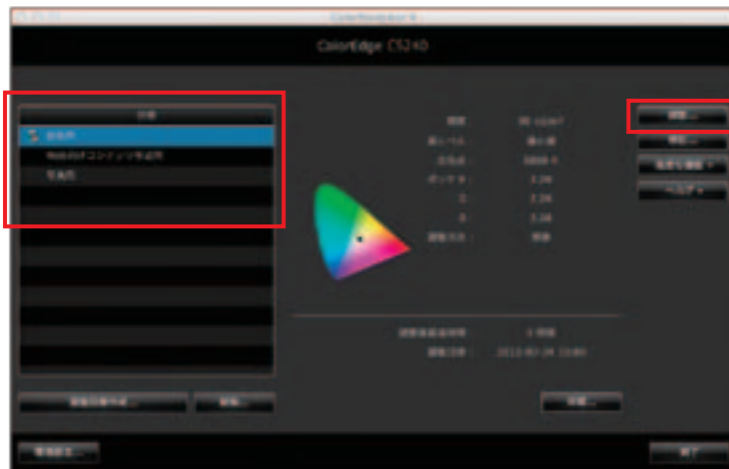
デスクトップ上の蝶のアイコンを
ダブルクリックします。

Mac OSの場合



Dockにある蝶のアイコンを
クリックします。

2 調整目標の選択



用意された3つの調整目標の中から
「印刷用」を選択して、「調整」をクリック。

「印刷用」は、プリント作品・印刷物の制作に最適な下記の目標値があらかじめ設定されています。

輝度: 80cd/m²
色温度: 5000K
ガンマ: 2.2
色域: モニターネイティブ

3 センサーで測色・調整

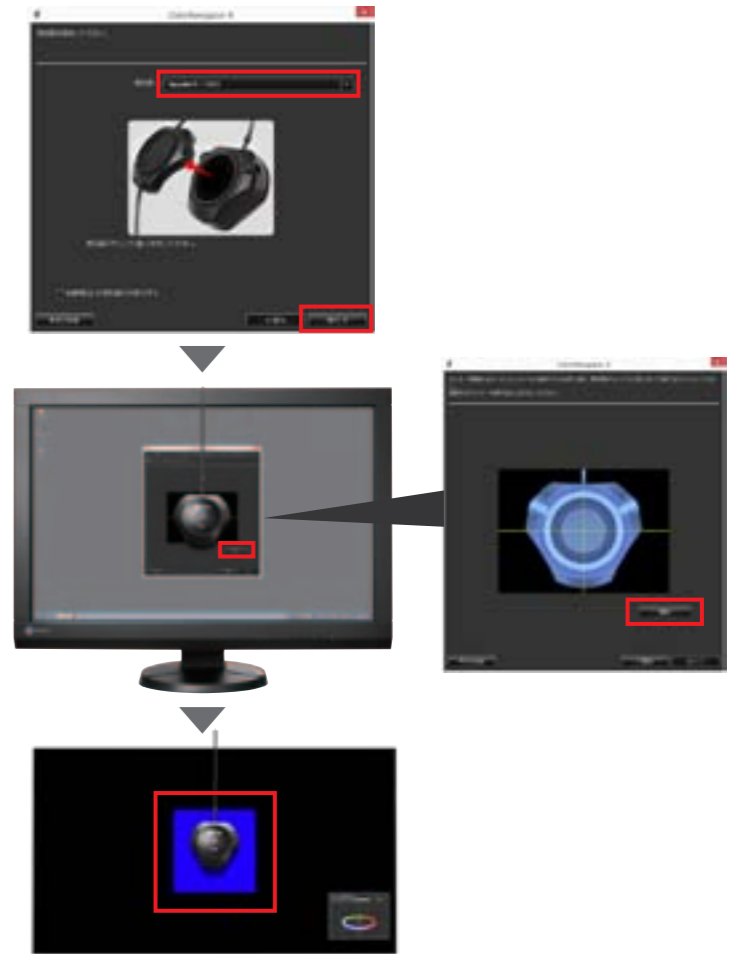
測定器に、接続したセンサー名を選択。
画面の指示に従い、「次へ>」ボタンをクリック。

表示された画面に合わせてセンサーを取付け、
実行 ボタンをクリック。



・モニター部分を上向きにするとセンサーを
固定でき、測色しやすくなります。

接続したキャリブレーションセンサーが
モニターを測色・調整します。



4 調整結果の保存



調整結果画面が表示されたら【目標】と【結果】
の値に大きな開きがないことを確認後、
完了 ボタンをクリック。



始めの画面に戻り、
調整目標「印刷用」
の横に青丸印が
つきます。

これでプリント作品づくりに適した表示に調整されました。
その表示を保つために、次ページ「モニターの定期的な調整」についてもご覧ください。

モニターの調整

モニターは定期的に再調整しましょう。

モニターの表示は使い続けるうちに変化しています。時間が経つにつれて、正しい色で表示できなくなるため、定期的な再調整を行うことが実はとても大切です。つい忘れがちな再調整、ColorNavigator 6で再調整タイミングをしてくれるタイマーを設定しておく、アラート画面表示でお知らせしてくれるので便利です。



タイマーの設定方法

「環境設定」ボタンを押します。

「タイマー」タブで
 マークを付け、タイミングを設定します。

再調整のタイミングにこのようなアラート画面が表示されます。

再調整の方法

蝶のアイコンをクリックしてColorNavigator 6を起動させます。

調整目標を選択して調整をクリック。

あとの手順はP16と同じです。

手間なくデジタルフォトを楽しみたい方は…

CXシリーズなら、自動で定期的に再調整し、表示を補正する専用センサーを内蔵しているの、モニターまかせでラクラク、常に正しい表示を維持できます。



マメ知識 モニターの調整(キャリブレーション)を行う理由

少し難しい話ですが、ColorNavigator 6での調整が終了すると、「モニタープロファイル」が生成され、自動でパソコンのOSに設定されます。これは、レタッチソフト、プリンタ、モニターを使って、色合わせ(カラーマネージメント)を行う上でとても大切なことです。ColorEdgeなら、これを高精度に手間なく行えます。

マメ知識 モニタープロファイルってなに？

モニターがどのような色を表示するかという情報をシステムに伝えるデータファイルのことです。

モニタープロファイル

続いて、マッチングを確認するために表示レタッチソフトで写真データを開き、テストプリントをしていきます。次ページにお進みください。

デジタルフォトを楽しむために
カラーマッチング
させるには
モニター選び
モニターの調整
表示レタッチソフトの設定
プリンタの設定
環境整備
マッチングの確認

表示レタッチソフトの設定

表示レタッチソフトで正しく写真データを表示しましょう。

カラーマネージメントに対応した表示レタッチソフトを使い、そのカラー設定を正しく行ってください。ここでは、代表的な3つのソフトでカラーマッチングに適した推奨設定をご紹介します。

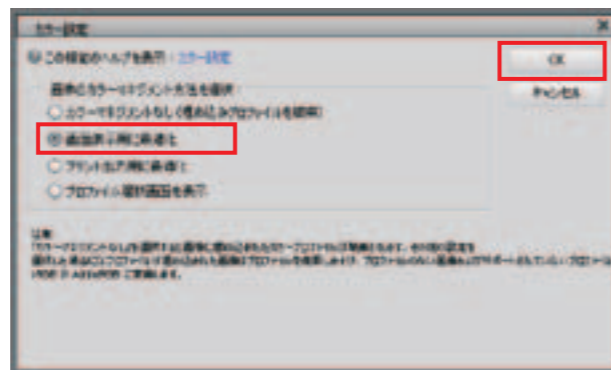
■ OS: Windows 8 / 7

Adobe® Photoshop Elements 13

設定は初期設定の通りです。



「編集」→「カラー設定」をクリック。



「画面表示用に最適化」を選んで「OK」をクリック。

Adobe® Photoshop CC

設定は初期設定の通りです。



「編集」→「カラー設定」をクリック。

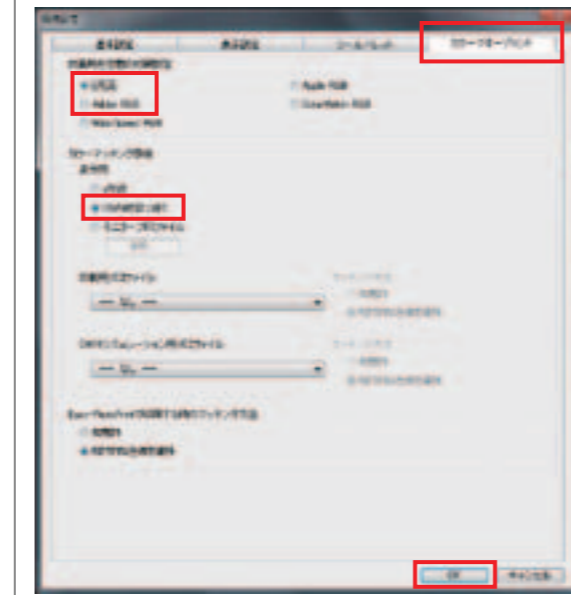


設定のプルダウンメニューで「一般用-日本2」を選択し、カラーマネージメントポリシーが「埋め込まれたプロファイルを保持」となっていることを確認して、「OK」をクリック。

Canon Digital Photo Professional

Canon Digital Photo Professionalは手動での設定が必要です。

Windowsの場合



「ツール」のプルダウンメニューから「環境設定」を選択し、「カラーマネージメント」タブに移動。「作業用色空間の初期設定」で、色管理方法に合わせて、「sRGB」もしくは「Adobe® RGB」を選択します。「カラーマッチング設定」の「表示用」で、「OSの設定に従う」を選択し、「OK」をクリック。

Mac OSの場合



「Canon Digital Photo Professional」のプルダウンメニューから「環境設定」を選択し、「カラーマネージメント」タブに移動。「標準作業用色空間」で、色管理方法に合わせて、「sRGB」もしくは「Adobe® RGB」を選択します。「カラーマッチング設定」の「表示用」で、「OSの設定に従う」を選択し、「OK」をクリック。

上記の設定はCanon Digital Photo ProfessionalのMac OS版ver. 3.13.45 (Mac OS X 10.6以降対応)以降で指定できます。最新のCanon Digital Photo Professionalへアップデートし、設定を行ってください。

表示レタッチソフトのいろいろ

カラーマネージメント対応の表示レタッチソフトには、Adobe® Photoshop ElementsやAdobe® Photoshopのように初期設定のままパソコンのOSに設定されたモニタープロファイルを自動で参照するものと、「Canon Digital Photo Professional」のように手動で設定変更する必要があるものがあります。正しい設定で画像を開くことで、モニターの調整を反映した正しい色で、画像を表示できます。

SILKPIXやNikon Capture NX2など、その他の表示レタッチソフトでの設定は、EIZO Webサイトでご確認ください。
http://www.eizo.co.jp/i/retouch_soft/

プリンタの設定

表示レタッチソフトを正しく設定できたら、次はプリンタです。

モニター画面と写真プリントをカラーマッチングするためには、写真データを忠実にプリントできるプリンタ選びも重要です。ここではおすすめのEIZOモニターとプリンタをセットでご紹介し、カラーマッチングに適したプリント設定を解説します。



次ページからは色合わせしたい写真をレタッチソフトで開いてプリンタの設定を行っていきます。

EIZOではテストプリントに活用できるプリントサンプルもご用意しています。ダウンロードはこちらから→ http://www.eizo.co.jp/i/sample_chart/



Canon 編

▶ 設定手順はP23~24へ

協力：キヤノンマーケティングジャパン株式会社

sRGBで色管理をする方には…



EIZO
ColorEdge® CS230-CNX3

23.0型、sRGB相当の色域の
カラーマネージメントモニター



Canon
PIXUS® iP8730

大きな写真も文書も得意、
A3フォトプリントモデル

Adobe® RGBで色管理をする方には…



EIZO
ColorEdge® CS240-CNX3

24.1型、Adobe® RGBカバー率99%の
カラーマネージメントモニター



Canon
PIXUS® PRO-10S

A3ノビ対応、卓越した質感表現を追求できる
10色搭載顔料インクモデル

EPSON 編

▶ 設定手順はP25~26へ

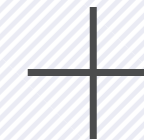
協力：エプソン販売株式会社

sRGBで色管理をする方には…



EIZO
ColorEdge® CS230-CNX3

23.0型、sRGB相当の色域の
カラーマネージメントモニター



EPSON
EP-977A3

ふだんはA4、ときどきA3、
写真の楽しみ方が広がる多機能モデル

Adobe® RGBで色管理をする方には…



EIZO
ColorEdge® CS240-CNX3

24.1型、Adobe® RGBカバー率99%の
カラーマネージメントモニター



EPSON
SC-PX5VII

Epson UltraChrome K3インク搭載
プロも納得の本格派モデル

Canon 編 カラーマッチングに適したプリント設定


Mac OSやその他の表示レタッチソフトウェアでのプリンタの設定はEIZO Webサイトでご確認ください。
<http://www.eizo.co.jp/i/printer/>

■OS:Windows 8 / 7 ■プリンタ:Canon PIXUS PRO-10S ■表示レタッチソフト:Adobe®Photoshop CC の場合

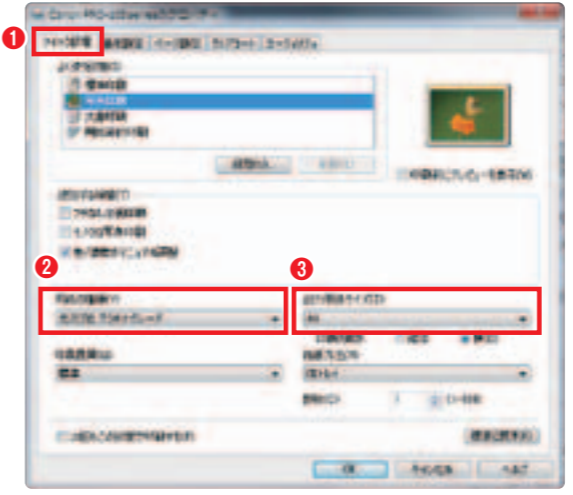
1 Adobe® Photoshopの「ファイル」のプルダウンメニューから「プリント」を選択する。



2 プリント設定画面が表示されたら、右側の項目を設定していく。まずは「プリンタセットアップ」を行う。
1「プリンター:」で「Canon PRO-10S series」を選択し、**2**「レイアウト:」で縦/横を選択後、**3**「プリント設定」をクリックする。



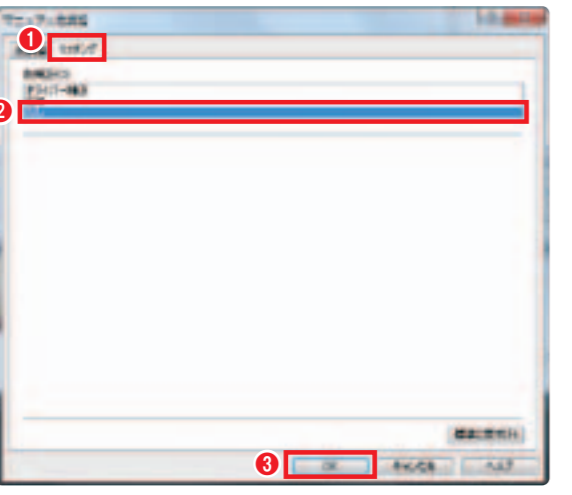
3 プリンタのプロパティ画面が現れるので**1**「クイック設定」タブを選択し、**2**「用紙の種類:」で「使用する用紙(例:光沢プロ プラチナグレード)」を、**3**「出力用紙サイズ:」で「プリントするサイズ」を選択する。



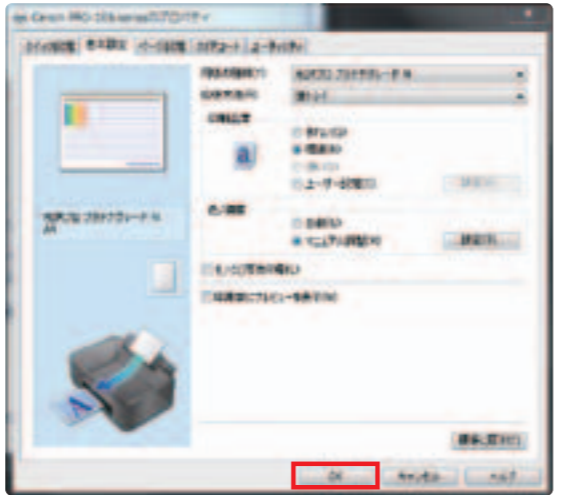
4 次に**1**「基本設定」タブを選択し、「色/濃度」で**2**「マニュアル調整」を選択し、**3**「設定」ボタンをクリックする。



5 マニュアル色調整画面が表示されるので、**1**「マッチング」タブを選択。Photoshopによるカラー管理に従って印刷するため、プリンタ側の色補正は**2**「なし」を選択し**3**「OK」ボタンをクリックする。




6 プリンタのプロパティ画面に戻るので「OK」ボタンをクリックする。




7 プリント設定画面に戻って、「カラーマネジメントの設定」を行う。**1**「カラー処理:」で「Photoshopによるカラー管理」を、**2**「プリンタープロファイル:」で使用する用紙のプロファイル*をプルダウンリストから選択する。最後に**3**「マッチング方法:」で当社推奨の「相対的な色域を維持」を選択する。

* 光沢プロプラチナグレードをPRO-10Sで印刷する際のプロファイル「Canon PRO-10S <PTN> 1/2/3 Photo Paper Pro Platinum」



8 「位置とサイズ」でプリント範囲やサイズを設定し、「プリント」ボタンをクリックする。



プリントが終わったらP27へお進みください。

EPSON 編 カラーマッチングに適したプリント設定


Mac OSやその他の表示レタッチソフトウェアでのプリンタの設定はEIZO Webサイトでご確認ください。
<http://www.eizo.co.jp/i/printer/>

■OS:Windows 8 / 7 ■プリンタ:EPSON SC-PX5VⅡ ■表示レタッチソフト:Adobe®Photoshop CC の場合


1 Adobe® Photoshopの「ファイル」のプルダウンメニューから「プリント」を選択する。



2 プリント設定画面が表示されたら、右側の項目を設定していく。まずは「プリンタセットアップ」を行う。
①「プリンター:」で「EPSON SC-PX5V2」を選択し、
②「レイアウト:」で縦/横を選択後、③「プリント設定」をクリックする。

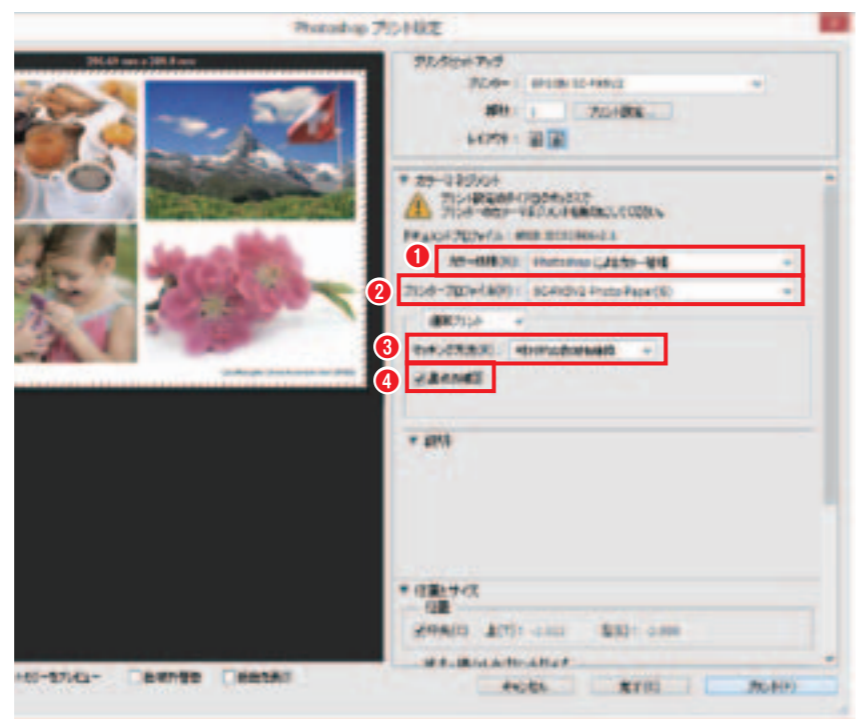


3 プリンタのプロパティ画面が現れるので①「基本設定」タブを選択し、②「用紙種類」で「使用する用紙(例:EPSON写真用紙)」を選択する。
Photoshopによるカラー管理に従って印刷するため、プリンタ側の③「色補正」は「オフ(色補正なし)」を選択し、④「用紙サイズ」でプリントするサイズを選択して、「OK」をクリックする。



4 プリント設定画面に戻って、「カラーマネジメントの設定」を行う。①「カラー処理:」で「Photoshopによるカラー管理」を、②「プリンタープロファイル:」で使用する用紙のプロファイルをプルダウンリストから選択する。最後に③「マッチング方法:」で当社推奨の「相対的な色域を維持」を選択後、④「黒点の補正」にチェックを入れる。

※EPSON写真用紙<光沢>をSC-PX5VⅡで印刷する際のプロファイル「SC-PX5V2 Photo Paper(G)」



5 「位置とサイズ」でプリント範囲やサイズを設定し、「プリント」ボタンをクリックする。

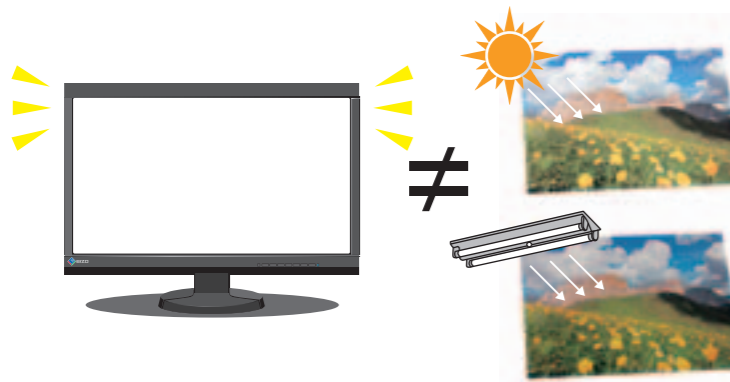
プリントが終わったらP27へお進みください。



作成したプリントを正しい環境光で見ましょう。

モニター画面と写真プリントをカラーマッチングするためには、プリントを見る部屋の環境整備も、実はとても重要です。

夜に室内の照明でモニター画面と写真プリントをカラーマッチングできても、日中に外光のもとで見ると合っていないようにみえることがあるのはなぜでしょうか？



プリントアウトした写真は、周りの光を反射して光が人間の目に入ること、画像として認識されます。そのため、昼間の外光で見ると夜間室内照明で見るとは光の色が違うためプリントの色は異なって見えます。

モニターは環境光を反射するのではなく、それ自身が光を発していますので、環境光が変わっても発色はほとんど変わらず、プリントと比較すると双方の色の関係が違ってきてしまいます。

正しく色を確認するためには、常に同じ条件で評価できるように照明を整え、環境光をコントロールする必要があります。

理想の環境

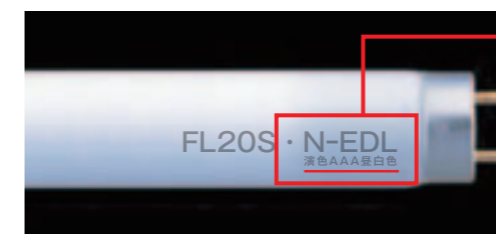


- 外光に影響されないようにする
- 高演色5000Kのデスクライト
部屋の備え付け照明を変えられない場合などに手軽にプリントを見る環境を整えられます。
- 壁面などは無彩色を心がける
- 遮光フード
- デスクトップの背景は無彩色のグレーがよい

照明のマメ知識

部屋の照明は5000Kの高演色光源がおすすめ

カラーマッチングに適した環境にするためには印刷の基準色温度5000Kとなる色に環境光を整える必要があります。部屋の照明は「昼白色」の高演色照明が適しています。



■ 蛍光管の場合
ここに次の表記がある照明をおすすめします。
(この部分は光の色および演色性能を表します。)

・ N-EDL …… 演色AAA昼白色 (Ra値：90~99)

※照明器具によっては記載されていない場合があります。

プリントとのカラーマッチングに適した蛍光管のリストをEIZO Webサイトに公開しています。

http://www.eizo.co.jp/i/color_matching/environment/

デジタルフォトライフをパワーアップさせるためのEIZO おすすめのアクセサリ

<p>EIZOアクセサリ ■ 蛍光灯スタンド Z-208-EIZO</p>  <p>カラーマッチングに最適な5000Kの高演色蛍光管が入ったEIZOオリジナル蛍光灯スタンド</p>	<p>EIZOアクセサリ ■ LEDスタンド Z-80pro-EIZO</p>  <p>5000Kの高演色LEDを装備した先進のスタンド</p>	<p>EIZOアクセサリ ■ 遮光フード</p> <p>CH5 CX271、CS270に対応 CH7 CX241、CS240に対応 CH6 CS230に対応</p>  <p>外光や画面からの反射も効果的に遮るEIZOオリジナル遮光フード</p>
---	---	---

マッチングの確認

最後にマッチングを確認しましょう。

ここまでで、写真データを正しくテストプリントできました。プリントとモニターを見比べて、一致していれば、これで完了です。ColorNavigator 6の **終了** ボタンを押して終了して構いません。

環境要因などで、マッチングが今一步の場合のみ、以下の手順を行きましょう。
調整済の目標に手動で微調整を行い、マッチング精度をアップすることができます。

! ColorNavigator 6の調整結果はモニター前面のボタンから操作するモードの「CALモード」に保存されます。正しい色で表示するために「CALモード」のままご使用ください。



1



調整済みの目標「印刷用」を選択後、画面右上の「高度な機能」ボタンの中から、「手動調整」を選択してください。

2



プリントとモニター画面を見比べながら、
1 「輝度」を調整。バーを左右に動かして、プリントの見え方に近づくように、モニターの明るさを調整します。



2 「白色点」を調整。ポインタを動かして、プリントの見え方に近づくように、モニターの色みを調整します。画面のほうが青く見える場合は、ポインタを青色とは逆の赤色方向に移動します。



! その下にある「色合い(色相)」「色の濃さ(彩度)」は、ほとんどの場合、調整する必要はありません。

3 色合わせできたら **次へ>** ボタンをクリック。

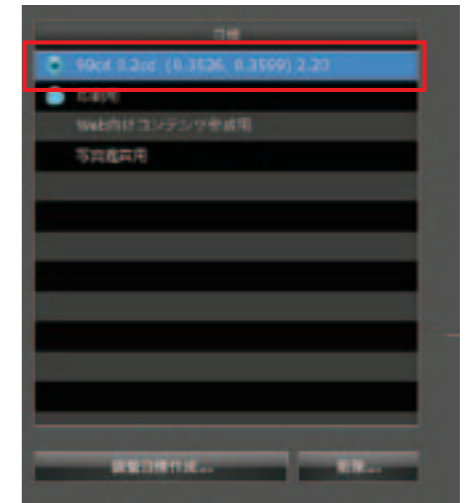
3

再度センサーを使ってキャリブレーション。結果が表示されたら **次へ>** ボタンをクリック。



新たな調整目標名を決めて **完了** ボタンをクリック。

4



目標リストに、よりマッチングできた調整目標が追加されます。プリントとモニターを見比べて一致していれば、これで完了です。右下の **終了** ボタンを押して構いません。

! 写真での色合わせが難しくうまくいかない場合は、印刷する紙と白色を見比べる方法もあります。

EIZOでは表示用の白色のサンプルデータをご用意しています。
ダウンロードはこちらから→http://www.eizo.co.jp/i/sample_white/

! 白色が合ってもカラー部分が合わない場合は、プリンタの設定や性能の問題が考えられます。プリンタの各色の表示性能をお確かめください。



ColorNavigator 6を使ったカラーマッチング手順は以上です。
プリント作品づくりを存分にお楽しみください。

ガイドブックの内容を動画で復習できる
詳細はこちら▶▶ <http://www.eizo.co.jp/i/cgsm/>

ガイドブック内で ご紹介したおすすめ モニター的主要仕様



23.0型

ColorEdge[®] オープン価格 ※1
CS230-CNX3



24.1型

ColorEdge[®] オープン価格 ※1
CS240-CNX3



27.0型

ColorEdge[®] オープン価格 ※1
CS270-CNX3

パネル	種類	IPS(ノングレア)	IPS(ノングレア)	IPS(ノングレア)
	バックライト	LED	広色域LED	広色域LED
	サイズ	58cm(23.0)型(可視域対角58.4cm)	61cm(24.1)型(可視域対角61.1cm)	68cm(27.0)型(可視域対角68.4cm)
	推奨解像度	1920×1080	1920×1200	2560×1440
	表示面積(横×縦)	509.2×286.4mm	518.4×324.0mm	596.74×335.66mm
	画素ピッチ	0.2652×0.2652mm	0.270×0.270mm	0.2331×0.2331mm
	画素密度	96ppi	94ppi	109ppi
	表示階調	DisplayPort:1024階調(65281階調中)、 DVI、HDMI:256階調(65281階調中)	DisplayPort、HDMI:1024階調(65281階調中)、 DVI:256階調(65281階調中)	DisplayPort、HDMI:1024階調(65281階調中)、 DVI:256階調(65281階調中)
	表示色	DisplayPort:約10億7374万色:10bit対応 (約278兆色中/16bit-LUT)、 DVI、HDMI:約1677万色:8bit対応(約278兆色中/16bit-LUT)	DisplayPort、HDMI:約10億7374万色:10bit対応 (約278兆色中/16bit-LUT)、 DVI:約1677万色:8bit対応(約278兆色中/16bit-LUT)	DisplayPort、HDMI:約10億7374万色:10bit対応 (約278兆色中/16bit-LUT)、 DVI:約1677万色:8bit対応(約278兆色中/16bit-LUT)
	視野角(水平/垂直、標準値)	178°/178°	178°/178°	178°/178°
輝度(標準値)	300cd/m ²	350cd/m ²	300cd/m ²	
キャリブレーション推奨輝度	120cd/m ² 以下	120cd/m ² 以下	120cd/m ² 以下	
コントラスト比(標準値)	1000:1	1000:1	1000:1	
応答速度(標準値)	10.5ms(中間階調域)	7.7ms(中間階調域)	15ms(中間階調域)	
広色域表示(標準値)	—	対応:Adobe® RGBカバー率99%	対応:Adobe® RGBカバー率99%	
入力端子	DisplayPort×1(HDCP対応)、DVI-I 29ピン×1(HDCP対応)、 HDMI×1(HDCP対応)			DisplayPort×1(HDCP対応)、DVI-I 29ピン×1(HDCP対応)、 HDMI×1(HDCP対応 Deep Color対応)
USB	機能	モニターコントロール用×2ポート、USBハブ×2ポート		
	規格	USB 2.0		
電源	最大消費電力	54W	68W	86W
	標準消費電力	21W	27W	34W
	節電時消費電力	0.5W以下(USB非接続時)	0.5W以下(USB非接続時)	0.7W以下(USB非接続時)
	待機時消費電力	0.5W以下(USB非接続時)	0.5W以下(USB非接続時)	0.5W以下(USB非接続時)
デジタルユニフォーマティ補正	有			
表示モード	カラーモード有 (User1、User2、User3、Paper、sRGB、Calibration(CAL))	カラーモード有 (Custom、Paper、Adobe® RGB、sRGB、Calibration(CAL))	カラーモード有 (Custom、Paper、Adobe® RGB、sRGB、Calibration(CAL))	
機構	外観寸法(横表示・幅×高さ×奥行)	544×372.5~526.5×245.5mm	575×423~553×245mm	646×413~561×245mm
	外観寸法(縦表示・幅×高さ×奥行)	353×563.5~627×245.5mm	398×586~651×245mm	402×657~688×245mm
	外観寸法(モニター部・幅×高さ×奥行)	544×353×75mm	575×398×71mm	646×402×72.5mm
	質量	約7.5kg	約8.7kg	約10.6kg
	質量(モニター部)	約4.8kg	約6.0kg	約7.7kg
	昇降	154mm	130mm	148mm
	チルト	上30°	上35°/下5°	上35°/下5°
	スウィーベル	344°	344°	344°
	縦回転	右回り90°	右回り90°	右回り90°
取付穴ピッチ(VESA規格)	100×100mm			
主な付属品	信号ケーブル(DVI-D~DVI-D×1)、2芯アダプタ付電源コード、USBケーブル、ユーティリティディスク(ColorNavigator 6、取扱説明書)、かんたんガイドブック、EX3センサー、EX3センサー、EX3取扱説明書、保証書、セットアップガイド	信号ケーブル(DVI-D~DVI-D×1)、2芯アダプタ付電源コード、USBケーブル、ユーティリティディスク(ColorNavigator 6、取扱説明書)、かんたんガイドブック、EX3センサー、EX3取扱説明書、保証書付きセットアップガイド	信号ケーブル(DVI-D~DVI-D×1(デュアルリンク対応)、Mini DisplayPort~DisplayPort×1)、2芯アダプタ付電源コード、USBケーブル、ユーティリティディスク(ColorNavigator 6、取扱説明書)、かんたんガイドブック、EX3センサー、EX3取扱説明書、保証書付きセットアップガイド	
保証期間	お買い上げの日から5年間※2			
寸法図(単位:mm)				

※1 オープン価格の商品は標準価格を定めていません。
 ※2 使用時間30,000時間以内に限ります。

■Adobeは、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。■Mac OSは、米国Apple Inc.の米国及びその他の国における登録商標です。
 ■Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。■その他の会社名及び商品名は各社の商標または登録商標です。■画面はハメコミ合成です。■冊子内の画像、説明図はイメージです。

製品に関するお問合せは
EIZOコンタクトセンター 受付時間 月~金 9:30~17:30(祝日、当社休業日を除く)
 ナビダイヤル **0570-200-557**

詳細仕様や製品に関する情報は
 EIZO Webサイトでご確認ください。

www.eizo.co.jp